

## 新年礼拝プログラム

司 会：近 伸之牧師

前 奏	(新聖歌 4 1) .....		
招 詞	『ヨハネの福音書』 7 章 3 7、3 8 節 .....	司 会	者
賛 美	新聖歌 2 9 9 「山 <sup>やま</sup> 辺に向かいてわれ」 .....	—	同
聖書の朗読	『詩篇』 4 2 篇 (右ページ参照) .....	司 会	者
黙 想	.....	—	同
メッセージ	「礼拝を思い起こすときに」 .....	近 伸之 牧師	
黙 想	.....	—	同
※ 応答の賛美	新聖歌 2 3 「父の神よ 夜は去りて」 .....	—	同
※ 新年の交棒	(スクリーンまたはプログラム裏面を参照ください) ..	—	同
※ 頌 栄	新聖歌 6 2 「天 <sup>あま</sup> つみ民も」 .....	—	同
※ 祝福の祈り	.....	近 伸之 牧師	
※ 後 奏	(新聖歌 5 9 - 7) .....		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立ください)

### <報告>

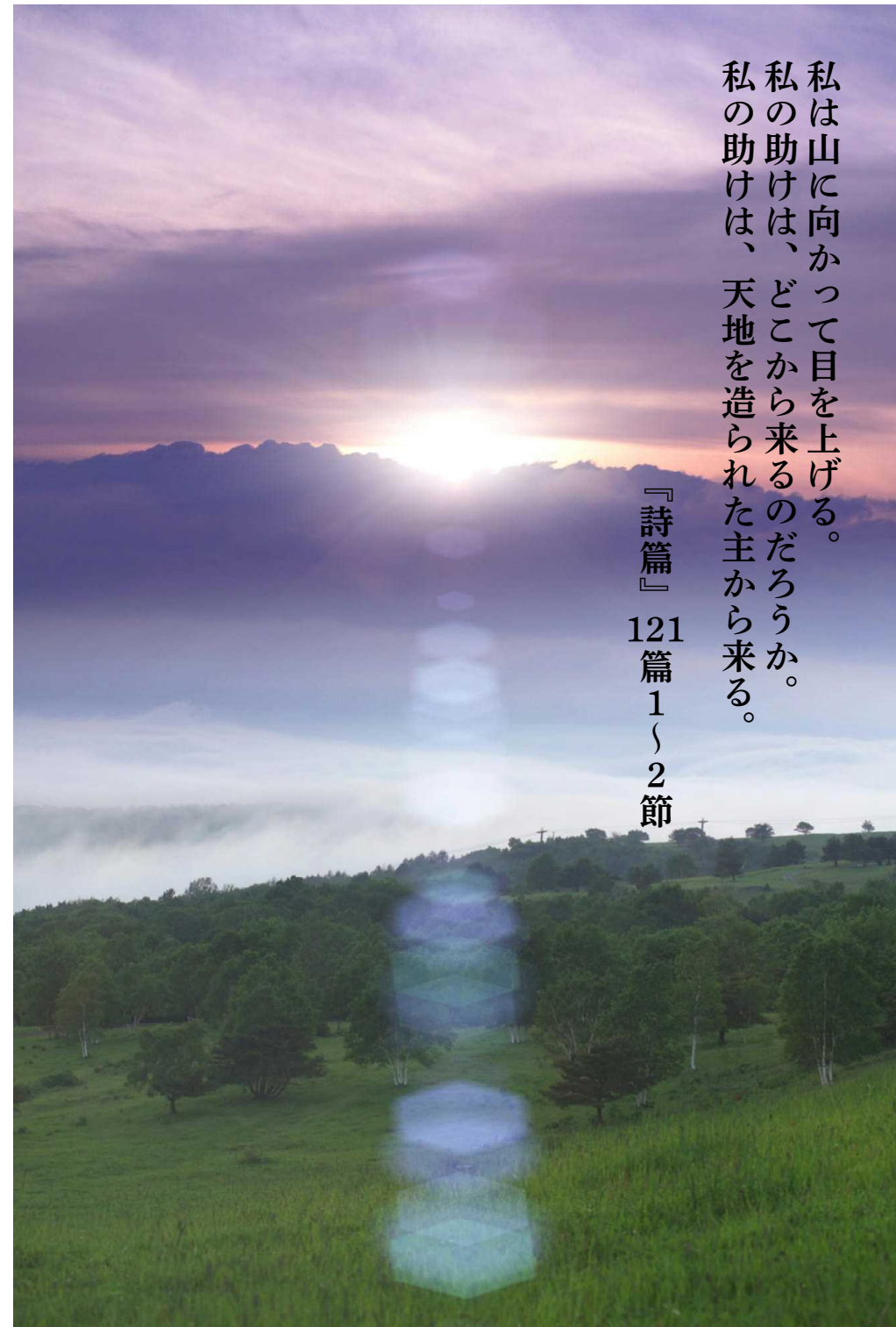
1. 本日は新年礼拝へようこそいらっしゃいました。  
今年一年も、ひとり一人の歩みの上に祝福がありますように。  
礼拝後は、婦人たちによる歓迎昼食会の用意がございます。  
どなた様も、お気軽にご参加ください。
2. 当教会では、毎週日曜日に集会を行っています。  
日曜学校は午前9:00から、また日曜礼拝は午前10:30からです。  
その他、牧師と聖書を学んだり、相談なども随時受け付けています。  
どうぞ必要な方は、教会までご連絡ください。  
電話 025-387-4934 メール toyosaka@yellow.plala.or.jp

### 『詩篇』42篇 指揮者のために。コラの子たちのマスキール

- 1 鹿が谷川の流れを慕いあえぐように、  
神よ。私のたましいはあなたを慕いあえぎます。
- 2 私のたましいは、神を、生ける神を求めて渇いています。  
いつ、私は行って、神の御前に出ましようか。
- 3 私の涙は、昼も夜も、私の食べ物でした。  
人が一日中、「おまえの神はどこにいるのか」と私に言う間。
- 4 私はあの事などを思い起こし、私の前で心を注ぎ出しています。  
私がああ群れといっしょに行き巡り、喜びと感謝の声をあげて、  
祭りを祝う群集とともに、神の家へとゆつくり歩いて行ったことなどを。
- 5 わがたましいよ。なぜ、おまえはうなだれているのか。  
私の前で思い乱れているのか。  
神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。御顔の救いを。
- 6 私の神よ。私のたましいは、私の前でうなだれています。  
それゆえ、ヨルダンとヘルモンの地から、またミツアルの山から  
私はあなたを思い起こします。
- 7 あなたの滝のとどろきに、淵が淵を呼び起こし、  
あなたの波、あなたの大波は、みな私の上を越えて行きました。
- 8 昼には、【主】が恵みを施し、夜には、その歌が私とともにあります。  
私のいのち、神への、祈りが。
- 9 私は、わが巖の神に申し上げます。  
「なぜ、あなたは私をお忘れになったのですか。  
なぜ私は敵のしいたげに、嘆いて歩くのですか。」
- 10 私に敵対する者どもは、私の骨々が打ち砕かれるほど、私をそしり、  
一日中、「おまえの神はどこにいるのか」と私に言っています。
- 11 わがたましいよ。なぜ、おまえはうなだれているのか。  
なぜ、私の前で思い乱れているのか。  
神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。私の顔の救い、私の神を。

新年の交棒2015 -New Year's Confession-

司会者 はじめであり、おわりである永遠の神よ。  
会衆 新しい年のはじめ、み前に祈る私たちをかえりみてください。  
司会者 クリスマスの祝福をかみしめながら迎えたこの日、  
会衆 この一年も、みことばの光をもって私たちを照らしてください。  
司会者 過ぎ去った一年、多くの罪と過ちにもかかわらず、  
会衆 限りないあわれみで私たちを包んでくださった主よ、  
司会者 今ここに迎えた新しい年も、  
会衆 あなたの愛のご支配のもとに置いてください。  
司会者 私たちには、これから何が起こるのかはわかりませんが、  
会衆 ただ一つのことを確信します。  
司会者 この世を続けたもうお方である、あなたのお許しがなければ、  
会衆 たとえ一羽の雀<sup>すずめ</sup>でさえ地に落ちることはない、という約束を。  
司会者 主よ、お与えください。  
会衆 地の果てにまで、あなたからの平和を。  
司会者 社会の隅々にまで、あなたからの正義を。  
会衆 すべての隣人<sup>となりびと</sup>との間に、あなたからの和解を。  
司会者 ひとりひとりのたましいと生活に、  
会衆 あなたへのゆるぎない信頼と、恐れを知らぬ平安を。  
司会者 誘惑には抵抗し、苦しみには忍耐を尽くし、  
会衆 災いと危険から、日ごと夜ごとにお守りください。  
司会者 主のみからだなる教会の一つの部分として、  
会衆 宣教のみわざに加わり、み名を証することができますように。  
司会者 キリストのご降誕から数えられた主の年2015年、  
会衆 この年のはじめからおわりに至るまで、  
司会者 常に私たちに先立ち、導いてください。  
会衆 この一年のすべてを恵みのみ手にゆだねます。  
司会者 み名があがめられ、み国が来ますように。  
会衆 みこころが地に行われますように。  
司会者 父、子、聖霊の神に、栄光がありますように。  
一同 アーメン。



私は山に向かって目を上げる。  
私の助けは、どこから来るのだろうか。  
私の助けは、天地を造られた主から来る。

『詩篇』  
121篇 1～2節